

## いよいよ物流企業

### 差別化へ「団結」の力

### 社会への優しさ、誇りに

「頑張らなければならぬ」が胸を刺す。レオスの大前研一。同社創業35年。前回の同社賞では、前年より1.2倍の成長を遂げた。昨年度の売上は23.1億円で、純利益は1.5億円。日本最大の物流企業、その成長の背景を覗いてみる。



チーム「ガネーシャス」としてフロアホッケーにも参加。温かい社会づくりを支援する

「頑張り続けた結果、差別化が難しい。物流業界の競争は激しく、同じようなサービスを提供している会社も多い。だからこそ、社会への優しさを武器に差別化を図りたい」というのが、大前研一氏の思い。彼が率いるレオスの社員は、社会への優しさを大切にしている。例えば、社員が家族を養育するために、家族を養育する目的で働くという理念を持っている。また、社員が家族を養育するために、家族を養育する目的で働くという理念を持っている。

## 第一貨物



### 武蔵 幸規社長に聞く 企業の「成長」と「健康」

教育への努力と投資は惜しまない。第一貨物の丘は、特選み輸送サービスを提供し続けている。特選改善のための運賃改定や物流品質向上にも力を注ぐ。

## 教育に情熱注ぎ続け

「教育を受けたものは、成長できる」というのが、武蔵の経営理念。社員への教育への情熱を語った。

「教育を受けたものは、成長できる」というのが、武蔵の経営理念。社員への教育への情熱を語った。

「教育を受けたものは、成長できる」というのが、武蔵の経営理念。社員への教育への情熱を語った。

## 原点

### 社員と共に汗流す 都市間輸送を自前で



「自前主義」にこだわることが品質・信頼を追求する

「原点」として、都市間輸送を自前で、社員と共に汗流すという経営理念を語った。

「原点」として、都市間輸送を自前で、社員と共に汗流すという経営理念を語った。



創生の絆、社員と共に汗流すという経営理念を語った。

企業データ：本社 山形市藤巻町2-1-20 設立 昭和16年3月 決算 3月 資本金 100,000千円 従業員数 4,332人 事業所数 69カ所 車両台数 45,357台 主要業務 貨物自動車運送、貨物利用運送、航空運送代理店、通関、倉庫、荷役梱包、警備、産業廃棄物処理、損害保険代理、不動産賃貸など

平成一千九百九十七年秋、山形市山形町新林内の土地に子会館を建設。環境に配慮した設計で、自然環境に調和した建物である。環境に配慮した設計で、自然環境に調和した建物である。